

【表紙】

2025 年度

明治学院大学大学院

文学研究科フランス文学専攻博士前期課程

入試問題

専門・フランス語

* 注意事項

1. 解答は、各問題についてそれぞれ別紙に記入すること。
2. 下書き用に 1 枚白紙を配布する。足りなければ監督者に請求すること。
3. 解答用紙の問題番号欄の【 】内に問題番号を明記すること。

- 【1】 次の文は生計の道を絶たれ、絶望の底にある若者ナンタが、突然訪ねてきた婦人からある提案を受ける場面である。下線部を日本語に訳しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

Zola, *Nantas* (1878), Éditions Flammarion, 2008, p. 151-152.

【2】次は、「教育」について考察した文章の一節である。全文を日本語に訳しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

Émile Durkheim, *Éducation et sociologie* (1922), PUF, 2005, p. 41-42.

*¹ exercer A sur B : (力など) A を B に及ぼす

*² Stuart Mill : スチュアート・ミル (1806-1873) イギリスの哲学者。

*³ acception : 意味、語義

*⁴ dispartes : ばらばらの、統一感のない

*⁵ vocable : 語彙

*⁶ procédés : 方法、手法、過程

【3】 次のうちから1題を選び、20行程度で答えなさい（選択した問題の番号を明記すること。）

- ① モンテーニュは『エッセー』最終章「経験について」で「竹馬に乗っても、何もならない。竹馬に乗っても、歩くのは自分の足だからだ。また世界中でいちばん高い玉座にのぼったとしても、やはり自分の尻の上にすわっていることに変わりはない」と語っている。これについてどう考えるか、自由に論じなさい。
- ② 芸術（文学、絵画、映画など、ジャンルは問わない）はどのように「歴史（神話を含む）」と対峙してきたか。具体的な作品をひとつ挙げて、その目的と方法、および影響等を論じなさい。
- ③ 亡霊、幽霊、またはそれに類する存在が登場する作品（文学、絵画、映画など、ジャンルは問わない）をひとつとりあげ、そうした超自然的な存在がどのような手段（テクストの語り、修辞、映像・舞台における効果など）によって表現されているか、またそうした存在が（作品内における）現実の秩序にいかなるインパクトをもたらしているかを論じなさい。
- ④ ヴァレリーは「私の詩の意味は読者が貸してくれる」と言っている。この言葉についてどう考えるか、自由に論じなさい。
- ⑤ 一人称小説を一つ挙げ、その小説を三人称小説として書き直した場合に、どのような表現上の損失あるいは利益が得られるか、考察しなさい。

【4】次のうちから2題を選び、それぞれ3～5行で答えなさい（選択した問題の番号を明記すること）。

- ① フランス語になった外国語の例を挙げて、それが受け入れられた背景を簡単に説明しなさい。
- ② 「メメント・モーリ (memento mori)」について簡単に説明しなさい。
- ③ 日本語に翻訳されたフランスの作品（文学、絵画、映画など、ジャンルは問わない）のタイトルを一つ紹介して、両者の違いを簡単に分析せよ。
- ④ 「ライシテ (laïcité)」とは何か、簡単に説明しなさい。
- ⑤ フランス語における女性形・男性形について、具体的な例を一つ挙げてジェンダーの観点から簡単に分析せよ。
- ⑥ 単純過去と複合過去の違いについて例を挙げながら簡単に説明しなさい。
- ⑦ 16-18 世紀に活動したフランスの女性の芸術家（文学、絵画、映画など、ジャンルは問わない）を一人紹介しなさい。
- ⑧ 絵画史において重要な転換期をなすと思われる潮流や作家の代表的な作品を紹介しなさい。
- ⑨ 時間の流れを主題とする作品（文学、絵画、映画など、ジャンルは問わない）を一つ挙げ、簡単に紹介しなさい。
- ⑩ 「醜さ」を表現する作品（文学、絵画、映画など、ジャンルは問わない）を一つ挙げ、簡単に紹介しなさい。

【5】次のテーマから1つ選び、5行ほどのフランス語で自由に論じなさい（選択した問題の番号を明記すること。）

- ① Comment vivre avec ChatGPT
- ② Comment la lecture enrichit-elle la vie ?
- ③ La littérature et la guerre
- ④ L'art doit-il divertir ?
- ⑤ Qu'est-ce qu'un chef-d'œuvre ?

【表紙】

2025 年度

明治学院大学大学院

文学研究科フランス文学専攻博士前期課程

入試問題

英語

* 注意事項

1. 解答は、答案用紙に記入すること。
2. 下書き用に 1 枚白紙を配布する。

次の文章は、19 世紀アイルランドの死刑反対論者ジェームズ・ホートンが統計学会で行った、死刑（capital punishment）についての演説である。これを読んで、以下の問に答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

著作権の関係で掲載できません。

James Haughton, *On Death Punishments*,
Dublin, Hodges and Smith, 1850, p. 5-21. (一部改変)

*¹ stagnate : よどむ

*² contend : たたかう、取り組む

*³ abolish : 廃止する (実際にはベルギーは死刑を廃止したのではなく、執行を停止していただけである)

*⁴ gallows : 絞首台

*⁵ juror : 陪審員

*⁶ scaffold : 死刑

問1 下線部(1)について、筆者は、人々のどのようなところが問題であると考えていますか？

問2 下線部(2)を日本語に訳しなさい。

問3 下線部(3)を日本語に訳しなさい。

問4 下線部(4)の feelings of humanity について、筆者はどのようなものであると説明していますか？

問5 [5]と[6]に入る単語としてふさわしいものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ① ignorance ② intemperance ③ humanity ④ tolerance